

# 復職後の就労継続性に関する効果研究

～Multicenter Retrospective Study (多施設共同後方視的研究)～

平成24年度厚生科学研究

## 復職後の就労継続状況の比較

【対象】リワークプログラム利用群

:6医療機関

(北海道、東京、京都、大阪、福岡)

非利用群:22企業(北海道、東京)

【結果1】

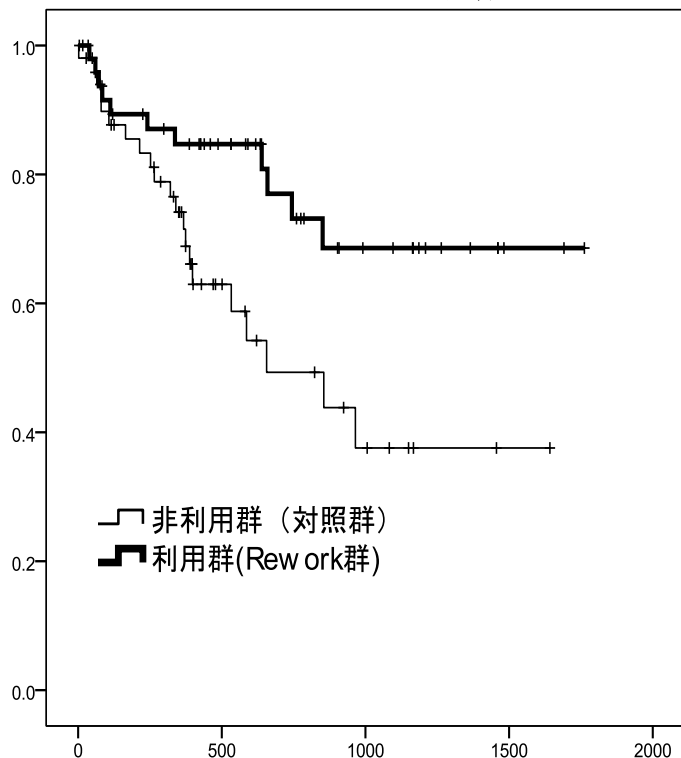
対象者323名を休職回数やこれまでの総休職期間などの条件によりマッチングを行い、絞り込んだ102名(51:51)を対象に復職後の就労状況を比較した結果、リワークプログラム利用者は非利用者と比較して、就労継続状況が有意に良好であった。(Log-rank test  $p=0.014$ )

【結果2】

基本属性、病歴、就労属性等を共変量としたCox比例ハザードモデルによる多変量解析の結果、リワークプログラム非利用者の再休職のハザード比は2.388であった。(再休職のリスクが利用者の2.388倍)

( $p=0.027$  95%CI:1.103-5.169)

就労継続割合



復職後の就労継続日数

# デイケアの治療概要

導入

- ・ 1-5回の面談と心理テストで課題の洗い出し目標設定

初期

- ・ マインドフルネス・創作活動・心理教育などのプログラムから参加。生活リズムの確立・集団へ馴染む

中期

- ・ 自分研究・履歴書作成・心理プログラム参加により自分自身をより深く見つめる

仕上げ

- ・ サイコドラマ 集団精神療法などの心理プログラムでリーダー的役割などを経験 対人関係課題の実践

フォローアップ

必要に応じて卒業後も面談継続